

人生は節目があるからこそ、次の成長があります。今日を境に、皆さんは新たなスタートをするのです。人生これから、勇気と自信をもって、素晴らしい人生を歩んでください。

次に書かれている番号は何でしょうか。この番号はあなただけの番号です。美々津中学校の第一卒業生からずっとつながっている番号なのです。

美々津中学校の卒業生は6825人いるのです。そしてあなたは美々津中学校の良き伝統を受け継いでいます。あなただけの番号、あなたは美々津中学校の伝統の中にいるのです。

そして、私の名前が書かれています。これは私からの最後のメッセージでもあります。

いよいよ、最後になります。本当に元気のいい最高の3年生でした。これまで、美々津中学校のために、全力で力を注いでくれたことに感謝します。有り難うございました。

ご家族のみなさん、これからも、子ども達に寄り添っていただき、支えてあげてください。義務教育を終えてもまだまだ子どもです。辛いとき、苦しいとき、悩んでいるとき、何があっても一番頼りにしているのは、ご家族の皆さんです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。そして、これまで学校を支え、応援していただいたことに深く感謝を申し上げます。卒業生の皆さん、本当にありがとうございます。私はとても幸せでした。

以上をもちまして式辞とします。

令和二年三月十六日

日向市立美々津中学校
校長 鈴木 利明

卒業証書授与式



3月2日から学校が長期の休みとなり、子ども達の声が校内から消えてしまいました。3年生は、県立高校入試を控え不安な日々が続いたことと思います。卒業式も式当日に30分練習しただけで、16日に本番を迎えました。会場には、在校生もなく、来賓も制限され、歌もカットという式になり、着席時は、職員、保護者を含め全員がマスク着用でした。それでも、保護者参加の形で、卒業式が迎えられたことに喜びを感じています。

生徒代表答辞で代表の河野優君が、中学校での思い出や感謝を述べ、最後に3つの和の心(感謝・おもいやり・挑戦)でまとめました。この3つの和の心を実践することは、自分を大切に、自分を磨くことにもなります。義務教育は、ゴールを迎えましたが、新しい人生のスタートでもあります。いつまでも、美々津中学校の卒業生であることを誇りに、充実した生活をおくりましょう